

令和4年3月31日
株式会社シーエス・ワンテン
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

番組審議会議事録

- ・日時 令和4年3月31日（木）
- ・開催方法 新型コロナウイルスの影響により書面での開催
- ・参加者 審議委員総数 7名
 - 委員長 片岡 朋行（ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所 弁護士）
 - 委員 関谷 信浩（東放学園専門学校・東放学園映画専門学校 学校長）
 - 野村 達矢（一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長）
 - 芳賀 康浩（青山学院大学 経営学部 マーケティング科 教授）
 - 松居 秀之（株式会社ピクス 常務取締役）
 - 松尾 健司（株式会社J-WAVE 編成局 エグゼクティブプロデューサー）
 - 山本 伸夫（株式会社日経BP 日経エンタテインメント！編集 編集長）

（衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン）

福田 泉（代表取締役社長）
谷 俊之（編成局長）

（番組供給事業者：バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社）

井股 進（代表取締役社長）
本間 雅彦（クリエイティブ&コンテンツ部 シニアディレクター）
戸田 裕介（クリエイティブ&コンテンツ部 編成/タレント&ミュージック マネージャー）
岡田 純明（コンテンツ・ディストリビューション・マネジメント本部 シニアマネージャー）

- ・審議番組 「MTV Unplugged: Nogizaka46」
- ・放送概要 2021年12月11日（土）20時～21時
- ・番組内容 世界中のトップアーティストが出演し、独創的で個性あふれるアコースティックライブの源流としてその歴史を刻んできた「MTV Unplugged」。日本制作としては宇

多田ヒカル、平井堅、西野カナ、K i n k i K i d s、秦 基博など、一流アーティストが登場し、いつものライブとは一味違うパフォーマンスを披露してきました。

今回は2021年に結成10周年を迎え、アイドルの枠に留まらず、日本の音楽シーンを代表するアーティストとなった「乃木坂46」出演による「MTV Unplugged」を収録し、2021年12月11日（土）に放送しました。

「MTV Unplugged: Nogizaka46」では、乃木坂46の一期生として、10年に渡ってグループの中心メンバーとして活動してきた生田絵梨花の卒業を記念して行われ、彼女のソロ歌唱を軸に、樋口日奈・久保史緒里・遠藤さくら・賀喜遥香の5名が出演。グループ随一の歌唱力と、ピアノの腕前を持つ生田絵梨花を軸に彼女の音楽スキルやポテンシャルの高さを伝えると同時に、メンバーとのコラボレーションを交えながら歴代の楽曲を幅広く見せることで、10年間の歴史、卒業する生田絵梨花と乃木坂46としての未来、そして乃木坂46が発表してきた楽曲の魅力がより多くの方へ伝わるような番組制作を心がけました。

・委員からの意見・質問とMTVの回答

- 従来の音楽番組ではおそらく見ることの出来ない、生田絵梨花さんの音楽スキルを堪能出来る素晴らしい番組だと思う。「MTV Unplugged」らしいクオリティの高い演出にも驚かされた。
- 敢えてな部分もあるだろうが、普段彼女たちの音楽に触れることの少ない人にとっては、番組内でのテロップ等の文字情報があるとさらにいいと思った。
- 日頃は制服風の衣装を着て、集団でダンスしながら歌う乃木坂46だからこそ、アレンジやテンポを変えて1～2人程度で歌うことで、楽曲そのものの魅力をより堪能することができるだと、全体を通じてギャップの面白さを強く感じた。
特に、ミュージカル女優としても活躍する生田絵梨花さんはもちろん、コラボレーションの形で参加したメンバーも含めて、歌唱力が高い人が多いことを改めて認識できたのもこの番組ならではのだった。「女性アイドル」という言葉から想像する印象を、いい意味で裏切られた感じする。
- グループの卒業ソングである「サヨナラの意味」「帰り道は遠回りしたくなる」なども用意しつつ、グループに残るメンバーも出演し、歌い継がれるであろう楽曲を共に歌唱するという構成も良かったと思う。卒業目の生田さんをメインに据えて、この時期に放送するという、放送タイミングやブッキングの点でより意味のある番組になったように感じる。
- 前半の「走れ! bicycle」「バレッタ」あたりは、原曲からアレンジやテンポなども大きく変わって、アンプラグド感が高めで楽しめた。一方で、最後の5人で歌唱した「シンクロニシティ」などは、大団円感があったものの、アンプラグドらしさにはちょっと欠けたようにも感じた。

- メンバートークは別になくてもよかったような気もする。メンバーを呼び込んで話した時のトーンで、「いつもの乃木坂46なんだ」と引き戻されてしまったように感じた。例えば、「緊張しました」みたいなアイドルトークとかはなくてもいい気がするし、袖から小走りに出てくる絵も違和感が残った。せつかく日頃とは違う楽曲のアレンジ、セットや照明、衣装など、アンプラグドらしい演出をしているのに、その空気感に合わない話し方や振る舞いに思えてしまったのが残念だった。
- アイドルグループのアンプラグドということで、あまり期待していなかったのだが、生田絵梨花さんの実力、曲のアレンジ、番組の構成等、全てレベルが高く感心した。
- アイドルのレベルを数段超えた質の高い音楽番組。本来の音楽の楽しさ、素晴らしさ、歌声の素晴らしさ、曲が伝わるもので、アイドルファンの音楽的知識レベルを上げられたように感じた。
- 放送倫理に照らし合わせて問題のあるような箇所はなかった。
- 乃木坂46のUnpluggedということだったが、全体的な印象としては「生田絵梨花Unplugged」といった印象で、タイトルと中身が少し合致しないという違和感があったが、内容は素晴らしかった。
- 一般的な「アイドルの卒業記念」という言葉からイメージされる賑やかなコンサートとは一線を画する上質な落ち着いた着きのある番組だった。それでいて生田絵梨花さんや登場したメンバーの今の心情が選曲・演奏から伝わってきて、きちんと「卒業記念」になっていた。Unpluggedの真骨頂とも言えるコンサートだったと思う。
- 生田絵梨花さんの歌唱力が際立っており、ファンでなくとも楽しめるコンサートだったが、グループをあまり知らない視聴者の為にも、共演したメンバーの紹介字幕が欲しかった。
- 乃木坂46というアイドルグループにいながらも歌唱力もあり「MTV Unplugged」を行うにおいても見劣りのしないパフォーマンスを見せることができていると思う。こういったアーティストにとって「MTV Unplugged」はアーティストのブランディングを上げる効果に大きな役割を果たす事ができる実証にもなったのではないか。楽曲のアレンジメント、ステージ演出、構成、映像演出、どれをとっても普段の乃木坂46では絶対に見せることのできないエレガントな要素は素晴らしかったと思う。
- おそらくコロナ禍でなければ有観客だったのだろうが、無観客でもしっかりとライブ感もあり特別感のあるライブとして満足いくものになっているのではないかと思った。
- アコースティックでジャージーなバックバンドによるアンプラグドな演奏が、生田絵梨花さんらの歌唱力を際立たせていた。
- グループ全体の歌唱ではわからない、各メンバーの歌唱力を堪能できた。
- 生田絵梨花さんが自らピアノを演奏して歌う「逃げ水」は、情感もこもった歌唱でミュージシャンとしての彼女を強く印象付けた。

- 全体にダークな照明が、各メンバーの歌唱に視聴者を集中させていてよかった。
- 登場する5人全員で歌う「シンクロシティ」も、良い意味で乃木坂46らしくない魅力的なコーラスだった。
- MTV Unpluggedという番組の性質上止むを得ないが、映像全体に動きが多くなかった。
- MCを置き、生田さんらの個性を感じられる言葉を引き出すとさらに良かったかもしれない。
- SNSなどを使った演出があってもよかった。
- 選曲の説明が少しあっても良かった。

- ・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和4年3月31日以降、編成担当及び番組制作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日
令和4年4月以降に、シーエス・ワンテンのホームページに審議会概要を掲載、また、MTVでの放送内でも公表する予定。

以上